



# 子ども支援の駄菓子屋

## 駄菓子屋らあちゃん

業種 駄菓子店  
代表 栗木 祐子  
住所 名古屋市昭和区長池町



### ・事業者の概要

事業者は東京に在住されていたが、ご親族の逝去によって、実家のある名古屋へ戻られた。東京での暮らしに慣れておられ、実家へ戻るたびに当センターへ相談にお越しになり、名古屋へ戻るかどうかずっと悩まっていた。ご自身のライフワークとして、子どもたちが生き生きと過ごせる場所を創造したい強い思いで、名古屋へ戻り起業を決断された。

### ・表面化している課題

子どもたちの居場所づくりを模索、子ども食堂や支援施設など様々な場所を訪ね、ご自身が進むべき道を探してきた。しかしながら子どもたちを支援する場所というのは、社会的貢献性が高いものの収益を上げるのは難しい。ボランティアでやっている場所も多い。

### センター相談時



### ・支援者の分析と判断

子どもたちが集まる場所として駄菓子屋を始めることを提案。空き家となったご実家の一部を駄菓子屋にしたらどうか？栗木さんはそこから前向きに動いて、仕入に奔走、お店を運営するのはまったく初めて。試行錯誤の連続だったが本当に頑張りました。

### ・課題解決への提案と実行内容

お金をかけない売場を提案。外へのサインも貼り付け。ゴールデンウイーク前のオープンを目指した。住宅街の中の住宅の一室を利用して靴を脱いで上がる居心地の良い店となった。

#### 駄菓子屋らあちゃん（昭和区長池町）



### ・成果と今後の進め方

庭から家の一室へと入る変則的なお店にもかかわらず、近隣から予想以上に子どもたちが来てくれた。駄菓子の他、玩具や文具の取り扱いも始めている。まずは子どもたちが集まる場所、その先にきっと栗木さんを頼られる子どもたちが生まれてくるはず。



#### 事業者さんの声

最初センターを訪ねた時から、いつも最大限のご支援をいただき、私だけでは決して成しえなかった駄菓子屋を開店することが出来ました。本当にありがとうございます。

